

## いわぬまアシスト

### ごみ焼却灰の外部委託

**問** 岩沼市は新年度から恥ずかしい自治体になる。生活ごみを自分たちで処理できない事態に陥る。

岩沼市など2市2町でつくる巨理名取共立衛生処理組合の、焼却灰などを埋める最終処分場が29年度中に満杯になる。長岡にある処分場だが、焼却灰の埋め立ては外部に委託せざるを得なくなる。

委託先は県外の民間業者になると思われるが、契約に向けてこまに進んでいるのか。

**副市長** 29年度からの計画で、複数の受け入れ先と量や単価も含めて協議しています。

**問** 4月からできるのか。

**市長** 年度当初から行いたいと思います。

**問** 2市2町によるごみ処理広域化は14年からだ。その2年前に、新しいごみ焼却施設は岩沼市に、最終処分場は名取市に設置することにした。岩沼市はその責任を果たしたが、最終処分場は用地確保のためさえ立っていない。

外部に委託すると、年間約2億



大友 健

円のお金が余計に掛かる。ごみ収集の有料化を早める要因になりかねない。最終処分場建設の難航は2市2町の市長・町長の責任だ。また、議員にも責任がある。

**ごみ処理を自己完結できない情けない自治体に転落した岩沼であることを、われわれ議員・議会も強く自覚するべきだ。**

## ごみの最終処分できないまち

新年度からの外部委託で新たな負担はどれくらい見込まれるか。

**副市長** 組合全体で約2億円。岩沼市の負担率は27%になることから、負担金は5300万円程度と考えています。

### 公設小売市場跡地の活用 亀塚第一住宅跡地の活用

**問** コミュニティづくりのためにも箱物が必要だ。その一つ、二つが公設小売市場跡地と亀塚第一住宅跡地の活用だ。他会派の代表質問では、亀塚の施設をめぐって「青年海外協力協会（JOCA）ありき」ではないかと指摘も出た。

議会軽視という言葉もあるが、ちよつと度が過ぎるのではないかとと思う。JOCAにのめり込み客観的視点を失っていると思う。

亀塚跡地はJOCAからの提案を受けた完成予想図もあり、市民向けのパネル展示もあった。その進め方には違和感がある。公設跡地利用で設置した検討委員会では

どんな意見や要望が出たのか。

**総務部参事** 世代間交流ができて、コミュニケーションが図られ、まちづくり活動ができ、情報発信する場という意見をいただきました。

**問** その際、青写真を示したのか。

**市長** 青写真や完成予想図はまだ作っていません。ただ交付金申請でイメージ図は作りました。

**問** (拠点整備交付金申請は) 収益のある事業や雇用の創出がないと採択されないようだが、予算獲得のめどはあるのか。

ありません。活用できるものは使おうということですが、交付金がすべてではありません。

**問** 亀塚の地域懇談会ではどんな意見や要望が出たのか。

**総務部参事** 公設に関することも出ました。町内会の地域活動の拠点という意見もありました。

**問** 公設と亀塚の跡地を活用した施設の役割が重複しないか。

**総務部参事** 役割分担を明確にして、連携も考えていきます。

**問** 亀塚跡地は「全市を対象とする施設」にしてはどうか。例えば民間活力で分譲マンションを造り、1、2、3階フロアを岩沼市が使用するのはいかがでしょうか。名取市が駅前ですそれをやっている。

**市長** もう決まったと思われると困ります。いい提案があれば採用します。全市を対象とした施設、あるいは学区（で考えるの）も一つの方法です。

◎その他の一般質問  
・まちづくり、コミュニティ

### 会派所属議員

植田美枝子、須藤 功、大友 健